

後発医薬品に対する臨床医師の信頼度 (要 旨)

— 日本医師会実施の後発医薬品に関わる緊急調査より —

平成19年6月27日
日 本 医 師 会

I. 調査の概要

1. 調査の目的

後発医薬品に関する基礎データを得ること

2. 調査方法と対象

医師を対象に日本医師会ホームページを使って行う

3. 調査項目(全て自由記載)

問1 後発医薬品について(品質・効果・副作用)

問2 後発医薬品製造・販売会社について(供給・情報提供・問合せ窓口)

問3 後発医薬品全般についての意見

問4 後発医薬品の服用経験について

問5 後発医薬品の服用意思について

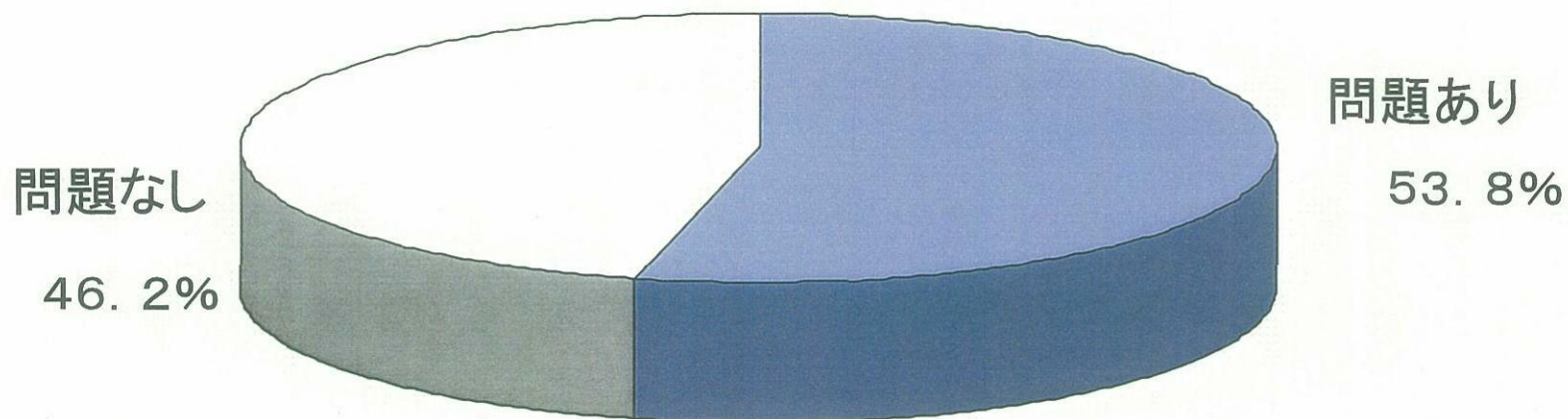
4. 調査期間

日本医師会ホームページ上に掲載を開始した平成18年5月26日から同年7月31日までの約2ヶ月間

Ⅱ. 結果の要旨

本調査に回答した人数は577人

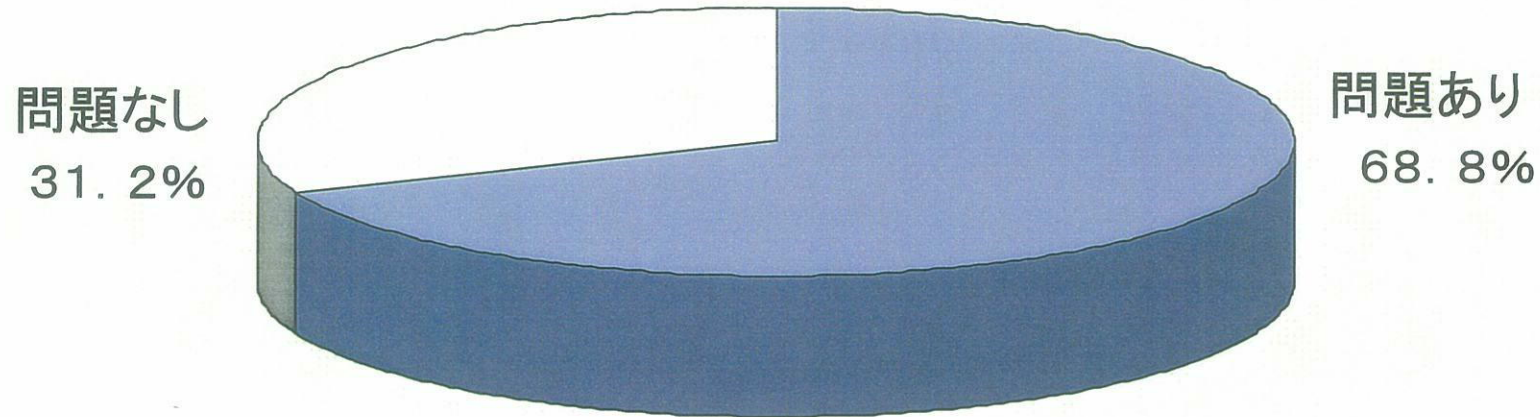
図 1 品質に問題があるか？



有効回答数	104	100.0%
問題あり	56	53.8%
問題なし	48	46.2%

「問題あり」とする内容(複数回答:63件)
「剤型の問題」22件
破損変色、錠・カプセルの非溶解など11件
「溶解度・安定性の問題」18件
溶解度・血中濃度が先発品に比べ劣る12件
「包装不良の問題」8件
「ごみの混入」6件
「味覚の問題」4件
「その他」5件

図 2 効果に問題があるか？



有効回答数	156	100.0%
問題あり	106	68.8%
問題なし	48	31.2%

「問題あり」とする106回答の内容(複数回答:137件)

「後発医薬品の個別銘柄を示して効果に疑問を投げかけているもの」55件

「先発品の銘柄名を挙げ、その後発医薬品の効果に疑問を示すもの」35件

「効果がないので先発品に戻した」としたものの25件

「後発医薬品に効果がないと患者さんが指摘した」とするもの22件